

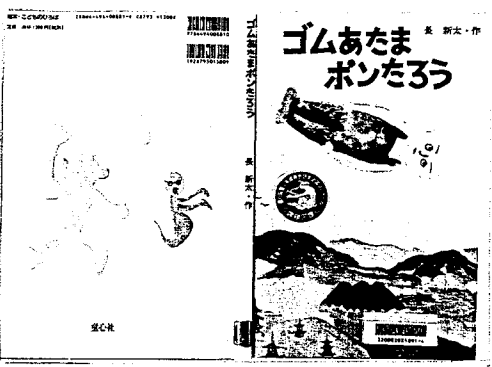
子どもたちといっしょに

「ゴムあたまポンたろう」長新太 作
童心社

「とおくのほうからおとこのこがとんできました。あたまがゴムでできている『ゴムあたまポンたろう』です。やまにポン！とぶつくと、ボールのようにとんでいきました。」

そして、ポンたろうは、おおおとこのつやバラのとげや、オバケのオトウサンにあたま、ジャングルのきや……にあたってとんでいきます。

長新太の絵本は、初めて読むおとなの人は、「何だニリヤあ？」と、思う人が多いようですが、深読みすればする程、深読みできるし、そのままでも、ギャグとしておもしろいので、大変人気があります。おとなの解説を入れずに、お子さんと楽しんでください。他に「つきよのかいじゆう」「キャベツくん」「ブタヤマさんたらブタヤマさん」



第13回読書会 「神の汚し忘れられた隠れ里」



神山 博 著
(文藝春秋刊)
日時・11月18日(日)
13:30~3:30
場所・白根学習館
1F-4・4・5
むすかい事は、やりません
どなたでも、気軽に
参加できます。

第3回おはなし講習会に参加しませんか

11月17日(土) 時間はいつでも13:30~3:30
12月1日(土) 3回講座です。3回共参加口でござる方に
15日(土) 限ります。
図書館主催の絵本のしかん「おはなし会」で、絵本を
読んだら、おはなしをしたらいい人・ご自分のお
子さんに絵本をよみたい・教室の児童や生徒に
本の紹介や、朗読をしたい人など、目的は色々あつ
結構です。ぜひご参加ください
申し込みは、電話で図書館まで372-5510

しろね図書館・しろね図書館友の会共催

11月の行事		ブックバス予定	
1 (木)	左 新中 12:55~13:35 左 新中 14:00~14:40 左 新中 15:00~15:45	16 (金)	白井小 14:30~15:15 白井中 15:40~16:40
2 (金)	白井小 14:30~15:15 白井中 15:40~16:40	17 (土)	おはなし講習会13:00~14:30 おはなし会3:00~3:30
3 (土)	おはなし会3:00~3:30	18 (日)	第13回読書会13:30~15:45
7 (水)	大宮小 14:45~15:30 榎原小 16:10~16:40	21 (水)	大宮小 14:45~15:30 榎原小 16:10~16:40
8 (木)	大宮小 15:00~15:45 白根中 16:20~16:40	22 (木)	大宮小 15:00~15:45 白根中 16:20~16:40
9 (金)	白根小 13:00~14:00 小林小 14:30~15:30	24 (土)	おはなし会10:00 おはなし会(中級公開講座)
10 (土)	おはなし会10:00 おはなし会3:00~3:30	28 (水)	新新田中 12:55~13:40 新新田中 14:30~15:00
14 (水)	新新田中 12:55~13:40 新新田中 14:10~15:15	29 (木)	絵本のしかん3:00~3:30 大宮中 14:10~15:15
15 (木)	左 新中 12:55~13:35 左 新中 14:00~14:40 左 新中 15:00~15:45		

本の紹介など原稿をお寄せください。

しろね図書館だより

No. 18

発行 白根市立図書館
平成 13年11月1日

すっかり秋も深まりました。日没も早くなり、ますます夜長になり、今こそじっくり本を読むチャンス到来です。ご利用おまちしております。
さて、最近すこし悲しい事がありました。新聞が時々もちぎられたり、雑誌の記事が切りとられたりしました。他の利用者の方々に、大変めいわくをおかけする事になりますので、おやめいただきたいと思ひます。必要な記事は、コピーサービスしておりますので、ご利用ください。「みんなの図書館」です。「こんにちはありがとう」を、気持ちよく言い添って、爽やかにご利用ください。

10月の

来館者	13,010人	(見学者 83人)
貸出冊数	12,297冊	
予約件数	209件	
ブックバス利用者	468人	
貸出冊数	1,257冊	

リクエスト情報 (しばお待たせ)

- 1位・ハリ・ポッターと賢者の石(11人)
- 2位・チーズはじこへ消えた?(6人)
- ・模倣犯(6人)
- 3位・きょうりゅうのおりがみ2(5人)
- ・ハリ・ポッターとアズカバンの囚人(5人)

がんばって作りました「おはな子どもたちの手づくり絵本の会」

10月6日・7日・14日の3日間に行われた会には、13名の参加がありました。下記10名の方が、完成されました。世界でたった一冊の絵本。大切な宝物にして下さい。11月いっぱい図書館入口の展示架に展示させていただきます。来年も「手づくり絵本の会」は、やりたいと思ひています。あなたも作ってみませんか。皆さんに賞をつけさせていただきました。

- ファンタジー賞-----乾 匠さん(小3) 楽しい絵本賞-----西村千華さん(小6)
- おやこがっさく賞-----氏田マコ子さん(お母) おはなし賞-----藤井ともよさん(小5)
- よくできた賞-----鴨井麻衣さん(小3) とてもきれいな賞-----間島菜月さん(小5)
- おはなしがじょうず賞-----川村結衣さん(小6) 創作アイデア賞-----安田萌子さん(小3)
- がんばった賞-----田部紗菜さん(小5) 早くできた賞-----山岸 寛さん(小3)

サイバー経済学
 小さな会社の税金と節税がわかる本
 DV-殴らずにはいられない男たち
 元気に老い、自然に死ぬ
 福祉医療建築の連携による高齢者・障害者の健康・病気のおたより文例
 保育に役立つ絵画あそび技法百科
 考える力のある子が育つ、シンプルで確実な大江戸番付づくし
 食生活の歴史
 数学嫌いな人のための数学
 虫屋の虫めがね
 肝臓の病気が気になる人へ
 肩が痛い、腕が上がらない五十肩
 コレステロールを下げる食事
 心身の健康は歯の噛み合わせで決まる
 仕事人がつくる
 思い通りの家を造る
 Zカー
 酒がSAKIと呼ばれる日
 本格焼酎を愉しむ
 楽しい古製・ふくろもの
 美しい素肌をつくる24時間
 簡単ではない 続
 乾貨の中国料理
 大和の味・改訂版
 新潟うまい店
 一粒のケナフから
 キクの仕立て方12か月
 小品盆栽をはじめよう
 大ギク
 愛犬の病気百科 カラー版
 自然のやすらぎ炭のある暮らし
 Webショップ出店/ホームページ作り/代
 芸術立国論
 馬を描く
 いのり
 野生の大地
 犬の方が嫉妬深い
 巷説百物語 続
 アブラクサスの祭
 火宅の坂
 ロシア幽霊軍艦事件
 戦後短編小説再発見 5 生と死の光景
 双調平家物語 8 乱の巻(承前)・平治の
 城
 上海遊記、江南遊記
 飛狐外伝 2

小島 寛之|著
 豊田 正義|著
 山折 哲雄|著
 馬場 昌子|著
 富山 典子|著
 メーナ シュアー|著
 石川 英輔|著
 瀬川 清子|著
 小室 直樹|著
 田川 研|著
 NHK出版|編
 園武 和春|著
 小関 智弘|著
 林 望|著
 片山 豊|著
 吉田 集而|編
 田崎 真也|著
 上田 晶子|著
 山本 浩未|著
 大本 幸雄|著
 山本 豊|著
 田中 敏子|著
 NAGANOケナフの会|編
 岡ノ谷 幹雄|著
 山本 和美|著
 愛犬の友編集部|編
 道祖土 靖子|著
 加藤 ちえ|著
 平田 オリザ|著
 山下 秀樹|著
 福岡 秀広|著
 森田 千恵子|著
 内田 春菊|著
 京極 夏彦|著
 玄侑 宗久|著
 澤田 ふじ子|著
 島田 莊司|著
 講談社文芸文庫|編
 橋本 治|著
 滋澤 龍彦|著
 芥川 龍之介|著
 金 庸|著

集英社
 成美堂出版
 光文社
 春秋社
 学芸出版社
 ひかりのくに
 P H P 研究所
 実業之日本社
 講談社
 東洋経済新報社
 偕成社
 講談社
 日本放送出版協会
 成美堂出版
 現代書林
 岩波書店
 光文社
 光文社
 T a K a R a 酒生活文化研究所
 光文社
 文化出版局
 三笠書房
 日本放送出版協会
 柴田書店
 奈良新聞社
 ニューズライン
 創森社
 主婦の友社
 河出書房新社
 日本放送出版協会
 誠文堂新光社
 マール社
 西東社
 集英社
 誠文堂新光社
 勁文社
 東方出版
 角川書店
 角川書店
 新潮社
 徳間書店
 原書房
 講談社
 中央公論新社
 河出書房新社
 講談社
 徳間書店

『炎都』『禍都』『還都』『宙都』
 柴田よしき：著 <徳間書店>

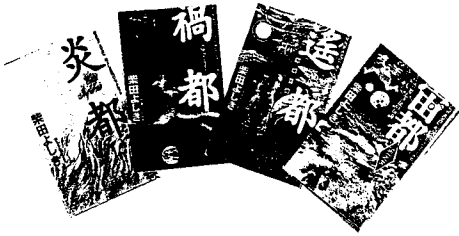
秋です。旅行の似合う季節(?)になりました。「秋の旅行」といってまず思いつく場所は?そう、京都。修学旅行定番の地ですね。そして、京都といえば古くからの都<古都>です。古都に魔物はよく似合う、そんな気がするのは私だけでしょうか。そこで今回は、京都が舞台で魔物が登場する、そんな本をご紹介します。

すべては1冊目の『炎都』から始まります。
 -京都の地質調査会社の技師として働く木梨香流(きなしかおる)は急激に水位がさがる上賀茂の地下水に首を傾げていた。いくら原因を考えても考え付かないのだ。また、それと同じ頃、京都市中でおかしな変死体が発見されていた。数時間前まで生きていた人間が、全身のありとあらゆる体液を抜かれ、からからに干からびきって死んでいる。その姿はまるでミイラのような。こんな異常殺人が人間に可能なのか?そして地下水の急激な減少の原因は?

香流は地下水の調査を続けるうちに、異常殺人の原因を突き止め、彼らと闘うことに。それは、京都を守るためでもあり、恋人を守るためでもあった。

その後、物語は「アルルの謎文字」や「ピシマ」・「青の民」・「黒き神々」といった多くの謎が出てきながら進んでいきます。まさに、<謎が謎を呼ぶ>です。

1冊1冊がかなり厚い本ですが、話しの展開が早いのであつというまに読めてしまいます。また、このシリーズは現在4冊出版されていますが、今秋にも5冊目が出版される予定とのことで、そちらも待ち遠しい今日この頃です。是非、御一読を!



[司書 野沢淳子] (ノベルス; 913.6シ)

読書会に参加して
 (第十二回読書会 十月二十一日)
 「新家族」 富岡多子著

大井京子

読書会にはよく参加しているが、いつもテーマに取り上げられる本は少しむずかしそうだったり、あまりなじみのある作者のものではなかったりする。

それでも読んでみると、共鳴出来る出来ないは別に、読んでみて良かったと思うから不思議である。好物だけを食べていると栄養が偏るのに似て、読書も好みでないものもとりこむ事で、バランスがよくなって充足感が得られるのだろうか。

「富岡多恵子」よく聞く作家だが作品を読むのは初めてだから私にはもってこいの滋養食か。タイトルから甘い物語りを想像したが、見事に裏切られた。九編の短編が収められていて、そのどれもが救いのないやりきれない話ばかりなのである。

働きたくない、しぼられたくない男が親に去られ妻に逃げられ、幼い子ども二人と取り残されるが、その子どもを置き去りにして死なせてしまう。子殺しの犯人で指名手配されていると知った男は故郷へ戻って今度は親も殺してしまう。

最後まで希望が一つも見えてこないこんな話にやり切れない思いを抱きながら、これがあり得ない話ではないこと、自分にもこんなふうたらで残酷な面がないとは云いきれないことを突きつけられる。自制心のもろさを知らされて身の引き締まる思いがする。

「子ども向けの話は必ずハッピーエンドになるけれど、そうはならない大人の話はやはり読み応えがあつて本を読む醍醐味を味わえますね」という感想も聞けた。

あなたの心の栄養バランスは偏っていませんか?次回の読書会十一月十八日(日)です。ご参加お待ちしております。

お知らせ
 今月の展架架のテーマは「創る」です。想いを形にしていく楽しさは、「おとぼ」"子ども"の区別がありません。指先の作業は、「子ども」には、月島の発達にはつながらず、「おとぼ」には、老後を防ぐ作用のあとと言われている。
 "おとぼ"も"絵本"を、子ども達に読ませ、想像力をふくらませ、創造力を引き出して、「創る」ことに挑戦しましょう。